内田造船代替り
職工千二百解雇
解雇手當問題は直接社長内田氏へ交渉する筈

横濱電話＝內田信也氏を社長とする橫濱市山下町株式會社內田造船所は數年前橫濱鐵工所を買收して之に

造船部 を設け資本金三百萬圓と內田氏個人の貸付百四十萬圓と合計四百五十萬圓の資本金で造船界好況の時代から東洋汽船其他の造船注文を受け非常に好景氣であつたが海運界急轉直下の不況から今期迄に百四十萬圓の債務が出來既に二三買收說も傳へられたが遂に六月廿日限り固定資本五百五十萬圓

其の儘 大阪商船會社系の大阪鐵工所に買收される事に決定したので二十日午後一時子安町の造船所千若町の鐵工所等の職工一千二百四十四名（內譯造船職工六百名、鐵工職工五百名）と社員九名を山下町本社に集め坂本專務取締役は同社營業難の內情を打明けた上解雇の旨を傳達し同時に社員及職工に對して夫々解雇手當を渡した、之に依ると

職工側 は三ヶ年未滿勤續者には日給十四日分、三年以上勤續者には前記手當の上一ヶ月一日分の割の日給を加算し外に五圓の手當を出した、之に對して職工側では解雇手當を六ケ月分要求し之が解決の交涉を某々勞働組合に依賴しやうとの聲起り其他過激の言辭を爲す者もあつたが柴神奈川縣高等課長及坂本專務取締役等に諭戒された結果職工側から二名の

委員を 選んで內田社長に直接懇願する事になり午後三時一先づ無事に納まつた、斯て內田造船所は二十日限り閉鎖されたのである、阪本重役は

職工側で要求した解雇手當六ケ月と云ふ事になると四十萬圓の金が必要である、本社は二十萬圓の資金が生れるならば此營業が維持する事が出來る狀態にあるので會社としては此要求は到底容れられぬが社長として幾分涙金を出されるかも知れぬ

と語つた、因に

新會社 の社長は勿論大阪商船及大阪鐵工所等から選定さるべく重役、幹部達等も明二十二日夫々決定發表される筈である

友愛會へ持込む
造船部の七百餘名要求
條件交涉方を一任する

横濱電話＝突如解雇の宣告を受けた內田造船所職工は午後三時同所を引揚げて無事解散したらしかつたが造船部職工七百名は午後五時子安町なる第二社宅に

集合 して左記五ケ條の要求案を決議し直に是を會社に送致すると共に之が交涉を友愛會本部に依賴する事になり組長山田多三郎外五名は同夜鈴木會長を訪問の爲め上京し今朝之が回答報告を俟つて職工側の態度を決する事となつた、造機部職工五百名の方は今廿一日朝橫濱公園に集合し今後の

態度 を協議する筈である

而して會社側の發明した解雇手當は合計六千五百圓で之を各自に分配すると平均七圓五十錢位である、因に同夜子安町の第一、第二社宅、浦島町の第三社宅では解雇と同時に一兩日中に立退くべき運命であるから各戶共一家愁然の面色で今後の方針を

協議 して居るものもあれば早くも荷造りをして居る者もある、尙要求條項は左の通りである

一、解雇金として日給六ケ月分を支給する事

二、七千五百圓の救濟金を分配する事

三、役付職工に對しては上半期の賞與を分配する事

四、職工の入替は全然せざる事

見込の有無は疑問だが
賴まれゝば交涉して見やう

右に關し友愛會々長鈴木文治氏は曰く「廿日の午後三時四名の代表者が訪ねて來て今度の解雇は經營不可能に陷つて已むを得ずやるので從來出した解雇手當以上は一錢も出すことが出來ぬ旨を重役及技師長から說明があつたが、吾々に取つて今日の不況に於て容易に就職口も得られず特に遠國から來てゐるものが多いから少しでも多く手當を出して貰ふやうに運動して呉れぬかと云ふ相談であつたが之に對し內田は今非常に疲弊してゐると云ふから問題になるか何うか、それでもよいと云ふならば交涉の任は引受けて出來るだけ盡力してもよいと答へた、すると三千圓位の資金を作つて示威運動をヤッても少しでも割合をよくして貰ふ積もりだと云つて歸つた」云々

内田信也氏が保護願ひ
内田造船解雇工襲撃の噂に怖ぢて

珍品問題で知られた內田信也氏の本邸神戶市須磨町並に元居留地の內田汽船附近に十九日以來何れも數名の私服警官が配置され警戒振り却々嚴重を極めてゐるが二十日正午迄には格別變つた模樣もなかつた、聞く處によると右の警戒は過般解散した橫濱所在內田造船所の解雇職工中其の手當が薄いと

内田造船の閉鎖から千餘の職工不穩
內田氏の投げ出した廿一万圓の手當が尠いとて

內田信也氏經營の橫濱子安町內田造船所は造船界不況の大打擊を受けた結果本月一日より造船所を大阪鐵工所に讓渡し來る二十三日中に新重役決定後橫濱鐵工所と改稱し更に事業縮小の爲先づ十五日職工

▽五百名を 解雇し引續き造船部を閉鎖し造機鐵工部は繼續する筈であつたが此事を洩れ聞いた殘留の職工は不安の餘り[illegible]さるゝ者及殘留職工全部に對し

（一）退職手當日給の六ケ月分（二）季末賞與（三）職長、組長、伍長等へ特別手當（四）職工救濟會を解散し積立金七千圓を拂戾すと

右四條件の支給方を要求して解決

▽紛擾中の 處今回大阪鐵工所と內田造船所と協定の末一時工場を閉鎖するに決し廿日正午突然子安町造船部及山下町分工場職工全部千二百四十四人を解傭し社員全部二百九名は本月末迄に解傭する[illegible]內田氏個人か